

2019年5月8日

2019年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第三報）

運営委員長 中川重和（岡山理科大学）
実行委員長 竹村彰通（滋賀大学）
プログラム委員長 桜井裕仁（大学入試センター）

今回で18回目になる2019年度統計関連学会連合大会について進捗状況をご報告いたします。今大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会主催、滋賀大学共催により開催する運びとなりました。初日の9月8日(日)はチュートリアルセッションと市民講演会を、一般講演などは2日目以降(9月9日(月)～12日(木))に、会場はいずれも滋賀大学・彦根キャンパスで開催いたします。懇親会は、大会4日目(9月11日(水))の晩に、琵琶湖遊覧(浜大津港)で開催します。是非ご参加ください。

この第三報では、チュートリアルセッション、市民講演会、企画セッション、コンペティションセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。今後、連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2019/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますので、ご覧ください。

1. 大会日程、開催場所、各種受付期間

開催日程・場所	9月8日(日)：チュートリアルセッションと市民講演会 9月9日(月)～12日(木)：本大会 (いずれも滋賀大学・彦根キャンパス)
主催	応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、 日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会
共催	滋賀大学(予定)
懇親会	9月11日(水)17:00～19:00(予定) 琵琶湖遊覧(浜大津港)
講演申込	5月13日(月)11:00～6月5日(水)17:00
報告集原稿提出	6月12日(水)11:00～6月28日(金)17:00
事前参加申込	7月16日(火)13:00～8月19日(月)17:00

2. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項があります。ご注意ください。

(1) すべての講演に共通の事項

講演をご希望の方は、上記ウェブページからお申し込みください。これ以外の申込方法はありません。申込ページでは、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択してください。原則として、申込は講演者が行ってください。ただし、「企画セッション講演」に限り、オーガナイザーがすべての講演をまとめて申し込むことも可能です。

(2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申し込みください。ウェブページ上の講演申込手順にしたがって申込をしてください。プログラム編成の際の参考にしますので、最大3個までのキーワードを、重視する順にご選択ください。また、講演者（連名講演者を含む）のうち、少なくとも1名は主催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(3) 「企画セッション講演」に関わる事項

企画セッション講演者は、オーガナイザーから連絡を受けた整理番号に対応するセッションを申込ページの講演種別にて選択してください。例えば、整理番号が12であると連絡を受けた講演者は、講演種別欄では「企画セッション講演12」を選択してください。なお、企画セッション講演者（連名講演者を含む）については、主催6学会いずれかの会員であることを要件としません。

オーガナイザーがセッション内の講演全件を申し込む場合は、上記(2)と同様にして、それぞれの講演の申込を1件ずつお願いいたします。

(4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画で、今回で17回目を迎えます。参加資格は、次のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2019年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。また、コンペティション対象者は、講演申込時に主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし、入会申請中の方も認めます。プログラム委員会から各学会事務局に会員照会し、会員（入会申請中）でないことが判明した場合は、コンペティションへのエントリーを取り消しますので、十分にご注意ください。

審査は、複数名の審査委員による5段階評価にもとづく投票で実施する予定です。選考はプログラム委員会で行います。審査では、研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプレゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者数名程度を選考します。

コンペティションセッションは、9月9日(月)～11日(水)(予定)に開催し、9月11日(水)または9月12日(木)に滋賀大学・彦根キャンパス内で表彰式を行う予定です。なお、コンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度も申込順で受け付け、応募状況によってはコンペティション参加件数を制限することがあります。

(5) 講演言語の選択欄

講演申込のページの講演言語欄では、「日本語」、「英語」、「どちらでもよい」のいずれかを選択してください。

3. 講演報告集用原稿の提出

(1) 「一般セッション講演」、「コンペティション講演」に関わる事項

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル(PDF形式)を提出していただきます。「1. 大会日程, 開催場所, 各種受付期間」を参照の上, 原稿提出期間を厳守してください。

(2) 「企画セッション講演」に関わる事項

原則として, 講演者が提出してください。書式・提出期間等は, 上記(1)と同じです。オーガナイザーがまとめて提出する場合は, セッション内の各講演について, 上記(1)と同様にして1件ずつ原稿を提出してください(「2. 講演の申込 (3) 「企画セッション講演」に関わる事項」も参照)。その場合, オーガナイザーは, 期限内に原稿を提出できるようなスケジュールで講演者に原稿作成・提出を依頼してください。

(3) すべての講演に共通の事項

講演種別にかかわらず, ご希望の方は, 報告集用原稿とは別に, ウェブページに掲載する詳細論文を受け付けます(A4サイズ, 最大10ページまで, PDF形式, ファイルサイズは1MB以内, フォント埋め込み)。論文ファイルをメールによりプログラム委員会宛(submission2019@jfssa.jp)に提出期間内にお送りください。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領については, 連合大会ウェブページ(<http://www.jfssa.jp/taikai/2019/>)をご覧ください。

(4) その他

講演報告集は大会当日にお渡しします。

【注意】

報告集は、本大会ウェブページにて公開予定です。公開を希望しない場合には、報告集用原稿の提出時に、その旨をご指示ください。

4. 企画セッションのご案内

学会や個人等から申請のあった16件の企画セッションが予定されています。整理番号、テーマ名、オーガナイザーの氏名・所属は以下の通りです。各テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどについては、後日連合大会のウェブページに掲載される情報をご参照ください。

なお、企画セッションの運営はオーガナイザーに一任していますので、テーマについてのお問い合わせは、各オーガナイザーにお願いいたします。企画セッションの日程はプログラム作成時に決定いたします。

整理番号、テーマ名、オーガナイザー（敬称略）

- (01) 日本統計学会 会長講演，各賞授賞式および受賞者記念講演（西郷 浩（早稲田大学））
- (02) 公的統計における指数作成方法の新しい展開（美添泰人（青山学院大学））
- (03) 日本計量生物学会シンポジウム「疾患レジストリデータを活用する臨床試験デザインと統計解析」（平川晃弘（東京大学），安藤友紀（医薬品医療機器総合機構））
- (04) 日本計量生物学会奨励賞受賞者講演（安藤友紀（医薬品医療機器総合機構），五所正彦（筑波大学），田栗正隆（横浜市立大学），山本英晴（中外製薬））
- (05) 応用統計学会企画セッション「関数データ解析」（二宮嘉行（統計数理研究所））
- (06) 統計数理研究所医療健康データ科学研究センター「医療統計学のフロンティア」（伊藤陽一（統計数理研究所），田栗正隆（横浜市立大学））
- (07) 応用統計学会学会賞授賞式，受賞者講演（青木 敏（神戸大学），姫野哲人（滋賀大学））
- (08) 日本計算機統計学会 企画セッション「高次元データ解析における計算機・理論統計の最新の展開」（廣瀬 慧（九州大学））
- (09) 放射線リスク評価のための統計学（古川恭治（久留米大学），柳川 堯（久留米大学））
- (10) 大規模データの利活用におけるプライバシー保護の展開（佐井至道（岡山商科大学），星野伸明（金沢大学），伊藤伸介（中央大学））
- (11) 日本統計学会統計教育委員会企画セッション「新しい学びの時代の入学試験における統計分野の現状と導入に向けて」（竹内光悦（実践女子大学），藤井良宜（宮崎大学），渡辺美智子（慶応義塾大学））
- (12) 地震ビッグデータ解析の最前線（長尾大道（東京大学），加藤愛太郎（東京大学），矢野恵佑（東京大学））
- (13) 最適な動的治療レジメ推定のための統計的方法とその応用（大前勝弘（京都大学））
- (14) 統計モデリングと機械学習で紐解く生命システムのダイナミクス（島村徹平（名古屋大学），新井田厚司（東京大学），白石友一（国立がん研究センター研究所））

(15) ミクロデータの利用技術と EBPM (山下智志 (統計数理研究所))

(16) ソフトウェア・デモンストレーションセッション

5. プレナリーセッション, チュートリアルセッション, 市民講演会について

統計関連学会連合大会プレナリーセッション

統計関連学会連合大会は、国際的な学術集会を志向し、海外からの参加者のために英語セッションの増加などの方策を行っています。本セッションは、連合大会 JJSM (Japanese Joint Statistical Meeting) の国際化をさらに推進するため、世界的に著名な研究者を招聘しての講演をプレナリーセッションとして企画するものです。

日 時 : 2019年9月9日(月) 午前

場 所 : 滋賀大学・彦根キャンパス 大合併講義室

講演者 : Peter Brockwell (コロラド州立大学 名誉教授)

講演者の Peter Brockwell 教授は、時系列解析の名著として世界的に有名な Brockwell and Davis (1991) “Time Series: Theory and Methods”, Springer を著すなど、時系列分析の分野で卓越した学問的業績をあげられていて、近年では時系列 ARMA モデルを連続時間に拡張した CARMA モデルの研究で知られています。

チュートリアルセッション

今回のチュートリアルセッションでは、近年着目されている「Selective Inference」をテーマとして取り上げ、この研究分野で活躍されている下平英寿氏、竹内一郎氏、寺田吉壱氏にご講演いただくことになりました。奮ってご参加ください。参加費については、「6. 参加申込と大会参加費」をご覧ください。

日 時 : 2019年9月8日(日) 13:00~16:00 (休憩時間を含む)

場 所 : 滋賀大学・彦根キャンパス 大合併講義室

テーマ : Selective Inference の理論と応用

オーガナイザー : 下平英寿 (京都大学)

講演者 : 下平英寿 (京都大学), 竹内一郎 (名古屋工業大学), 寺田吉壱 (大阪大学)

概 要 :

データから仮説を生成することがしばしば行われる。データマイニングや近年提唱されているデータ駆動科学では膨大なデータから機械学習などによって有望な仮説が選択される。ここでは、モデル選択やクラスタリングなど様々な形式の問題を想定している。このように仮説を選択したとき、同じデータを用いて仮説またはそれを表現するモデルに関する推測を行うときに生じるバイアスを回避するため、多重検定補正に基づくアプローチなどが提案されている

が、その適用範囲は限定され、様々な課題が指摘されている。近年、このバイアスを補正するための新たなアプローチとして、選択イベントの条件付き推測を行う「Selective Inference」とよばれる枠組が注目されている。

本チュートリアルでは、その基本的な考え方や方法論をわかりやすく解説し、Lasso で変数選択をしたときの係数の信頼区間のバイアス補正やその発展系の詳解、多重比較やFDRなどとの関係、機械学習の先端的な応用研究、ブートストラップ法による最近の研究を解説する。

市民講演会

今回の市民講演会では、感染症の専門家として活躍され、また様々な情報発信もされている岩田健太郎氏に、「数字の主観と意味について」というタイトルでご講演いただくことになりました。奮ってご参加ください。なお、市民講演会の参加費は無料です。

日 時：2019年9月8日（日）16:30～18:00

場 所：滋賀大学・彦根キャンパス 大合併講義室

題 名：数字の主観と意味について

講演者：岩田健太郎（神戸大学）

概 要：

数字は客観ではありません。主観です。クオリアと言ってもよいです。我々が「1万円」という数字を目にするときは、そこには必ず主観が伴っているのです。「主観」ゆえに絶対的な正義はそこにはありません。人によっては1万円を大金と考えるでしょう。人によってははした金と捉えるでしょう。外国の方とかだと、1万円と聞いてもピンとこない人も多いです。ぼくらが外国に行ったときに、貨幣価値がしっくりこなくて困るのと同じです（3ユーロってどんくらいだっけ、みたいな）。「主観」には文脈を伴います。今日のランチに1万円はけっこうリッチなランチですが、今月の生活費1万円は、わりとプアな1ヶ月です。

医学の世界にも数字はたくさん存在します。その「主観」は噛み合っているか？これが今回のテーマです。みなさんが医学の世界で見る「数字」は、まるで初めての外国での初めての貨幣を扱うように「しっくりきていない」のではないのでしょうか。それがリテラシーの一部なのです。

6. 参加申込と大会参加費

当日受付の混雑を緩和するため、ウェブページからの事前申込にご協力ください。受付期間は、「1. 大会日程、開催場所、各種受付期間」を参照してください。事前申込の場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）

	事前申込	当日受付
会員（主催 6 学会の会員）	7,000 円	10,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000 円	8,000 円
学生以外の非会員	15,000 円	20,000 円

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前申込	当日受付
会員（主催 6 学会の会員）	3,000 円	4,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	2,000 円	3,000 円
学生以外の非会員	6,000 円	8,000 円

懇親会参加費

	事前申込	当日受付
一般（会員・非会員を問わず）	10,000 円	12,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	5,000 円	6,000 円

【注意】

- (1) 講演申込をされた方も参加申込の手続きが必要です。
- (2) これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認められません。大会に参加されなかった場合、報告集などの資料は後日送付いたします。主催 6 学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。
- (3) 市民講演会の参加費は無料です。
- (4) 懇親会は、収容人数に余裕がある場合に限り、オンサイト受付を行う予定です。オンサイト受付のポリシーに関しましては、第四報（8 月発行予定）でご案内いたします。

7. 宿泊・アクセス案内

本大会では、宿泊施設紹介のウェブページを準備する予定です。しかし、このウェブページから予約可能な宿泊施設には限りがありますので、各自で早めに宿泊の予約をお済ませください。

大会会場の滋賀大学・彦根キャンパスへは、JR「彦根駅」から直行バスで約 10 分、タクシーで約 5 分（900 円程度）、徒歩約 25 分です。大会会場へのアクセスについてはウェブページ

<https://www.ds.shiga-u.ac.jp/access/>

もご覧ください。

8. 託児施設の利用案内

託児所を利用される場合、連合大会の予算内にてその費用を補助する運びとなりました。託児所利用費の補助を希望される方は、以下の(1)～(3)の手続きを行ってください。手続きに必要な託児所利用補助申請書と託児費用申請書は、大会ウェブサイト内の「宿泊・観光」ページでダウンロード可能です。

なお、予算の関係上、全額の補助ができない場合がありますので、ご了承の程お願いいたします。

(1) 8月19日(月)までに託児所利用補助申請書

http://www.jfssa.jp/taikai/2019/pdf/pre_support4nursery2019.docx

を下記の申込先にメールにてお送りください。

(2) 託児所の予約は、各自で行ってください。

近隣の託児所：NPO法人保育サービスドリーム

<https://dreamwakuwaku.wixsite.com/toppage>

https://docs.wixstatic.com/ugd/7e31ea_fb30bc560726411b8d6446c2950c5a89.pdf

(3) 9月20日(金)までに託児費用申請書

<http://www.jfssa.jp/taikai/2019/pdf/support4nursery2019.docx>

と領収書(スキャンしたもの)を下記の申込先にメールにてお送りください。

申込・問い合わせ先

2019年度統計関連学会連合大会実行委員会

E-mail: [jikkou2019\(at\)jfssa.jp](mailto:jikkou2019@jfssa.jp) (at)を@に置き換えてください